

## R4「市長と語らんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 中加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語らんまいけ」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R5.3.31現在)
①下水道事業	市の下水道事業の計画で整備・不整備の区域がある。安田町内は下水道工事を施工してきているが、事業の完了が令和8年ごろと聞いている。下水道事業完了までの繋ぎとして、トイレの水洗化を図るため個別で単独浄化槽設置を試みたが、平成14年度以降は単独浄化槽設置が禁止されていたため、合併浄化槽を設置した。今後下水道が整備され、460円/㎡×土地面積の受益者負担金額と下水道での接続費用の高額負担が課せられる。加えて、設置した合併浄化槽が無駄になり、埋戻し費用も発生する。そこで下水道整備が遅れた地域の合併浄化槽から下水道への接続に対して、河川や海の水質保全、整備済支援として、水洗化推進事業補助金制度を補助要件なしで対象とすることはできないか。	下水道事業は概ね国の補助金1/2、市の財源1/2で実施しています。その中には借金も含まれ、下水道工事の借金の総額は年間の滑川市の予算約130億円に匹敵するくらいの数字です。下水道事業には課題がたくさんありますが、安田町内においても下水道への接続をお願いしたいと思います。該当区域の住民の方には受益者負担が発生してしまいますが、市全体の水質保全の観点からも下水道を推奨していますのでご理解ください。	下水道整備は、多額の税金を投入するため、毎年限られた事業費の中で進める必要があり、地域によっては進捗状況に差が出ていることから、対象地域の方には大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。水洗化工事への助成については、従来から所得税の非課税世帯であり、かつ単独処理浄化槽から下水道への接続のみを対象としてきたところであり、今後ともご理解をお願いします。
②相談窓口の一本化	高齢者の相談窓口として包括支援センターがあるが、その職員は忙しいと聞いている。また、高齢者の福祉事業は、市の中では縦割りがあり連携しにくいと聞いている。今後、高齢者が増加するに伴い、相談件数も増加することが予想される。高齢福祉・障害福祉や子育て支援などを総合窓口で整理できる体制を作してほしい。	様々な相談を一括して対応できる窓口として、「暮らしの保健室(仮称)」を設置したいと考えており、現在、各部局と調整しています。令和5年中の設置を考えています。令和4年11月26日に在宅医療フォーラムがありますが、そこで暮らしの保健室を開設し試行します。	相談者の方が抱える問題が複合化、複雑化しています。複数の課や関係機関等がスムーズに連携し、問題を解決に導いていける体制づくりを研究しています。その一つとして「暮らしの保健室(仮称)」の設置を検討しています。
③地域で助け合う仕組みづくりの発信	市として一人暮らしの高齢者への生活支援について、どのように考えているのか。包括支援センターにおいて地域で助け合う仕組みづくり・高齢者への生活支援を実施しているが、このような方向性を市として発信してほしい。	高齢化が進んでいく中で、地域で高齢者の見回りを含め助け合っていくことが理想だと考えています。その発信については前向きに検討していきます。	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすためにも、ゴミ出しや電球交換などの生活支援を住民同士で助け合う仕組みの充実が望まれます。その発信の方法については検討していきます。
④火事のサイレン	令和4年9月に小林町内で火事があったが、そのときにサイレンが鳴らなかった。火が発生したときはサイレンを鳴らしてほしい。	こちらの人的ミスでサイレンがなりません。通常火が発生した場合はサイレンが鳴ります。	サイレン吹鳴時の手順並びに連絡体制について消防組合で協議し、職員に周知徹底しました。
⑤上市川沿い道路にベンチを設置してほしい	市運動公園野球場付近の上市川沿いの道路にベンチを設置してほしい。	上市川の河川用管理道路であるためベンチを設置することは河川占用の立場から難しいです。	—

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 中加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		進捗状況(R5.3.31現在)
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	
⑥市広報の表記	市広報に毎月人口が掲載されているが、数字が減っている表記を「△」ではなく、「－」にしてほしい。	表記の変更は考えていません。	－
⑦厚生連滑川病院	厚生連滑川病院の待合室の椅子が固い。柔らかい椅子に更新してもらうよう市から連絡してほしい。	市から厚生連滑川病院に意見があったことを伝えます。	意見があったことを厚生連滑川病院に伝えました。
⑧高橋久光氏の不幸事	高橋久光氏の不幸事について、市長はどう思っているのか。	非常に残念です。	－
⑨除雪	令和4年度冬季の除雪について、例年中加積地区を中心に担っている業者が辞退したと聞いている。	中加積地区を中心に除雪業務を担っている業者から、令和4年度冬季の除雪業務の辞退届を受理しました。他の業者もオペレーターが減少していますが、中加積地区の除雪路線について業者とも協議し、体制が整ってきたところです。除雪業務を辞退した業者は、地域のために除雪路線でない道路も除雪をしていたため、その路線をどうしていくか協議していきます。	市の除雪路線については、市が周辺の除雪を委託している2社に依頼することとなりました。
⑩除雪	通勤・通学のために生活道路になっている私道等を市道認定し、除雪範囲を広げてほしい。	除雪は業者・人手が年々不足してきている状況であり、現在の体制が適切であると考えています。できることは考えていきます。	通学路に指定されている市道については、除雪を実施するよう努めています。
⑪市職員数	市広報に職員数が他自治体と比較して少ないと掲載されていた。市職員数を増やしてはどうか。	人口1,000人当たりの市職員数は全国的に見てもトップクラスに少ないため、職員数を増やしたいと考えています。滑川市職員定数条例により職員数が決まっていますが、改正等を検討し職員数を増やすことで、行政サービスを充実させたいと考えています。	令和4年12月定例会で滑川市職員定数条例の改正が可決されたことから、今後は、職員数を増やし、行政サービスの充実を図りたいと考えています。

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 中加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		進捗状況(R5.3.31現在)
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	
⑫福祉専門職員	精神障害を持つ方に対し、専門的な知識を持った市職員が不足しているのではないか。	現在、社会福祉士の資格を持っている市職員が5名います。今年度も募集をしており、人材の確保に努めていきます。	—
⑬学童保育施設	南部小学校の駐車場付近に学童保育施設を整備してほしい。	市内では西部・東部小学校には学童保育施設を整備済みです。他地区とのバランスを考慮しながら前向きに検討していきます。	南部小学校区の学童保育は、南部小学校から離れた中加積地区公民館で実施しており、クマが出没するおそれがあるなど、安全上の課題があることを認識しています。移転については、慎重に検討しています。
⑭横断歩道	市道柴・常光寺線と県道黒川滑川線の交差点にある横断歩道の線が消えているので対応してほしい。	現場を確認し対応します。	当市上下水道課の下水道工事の施工時に、同課が掘削した部分については、白線を引き直しました。残りの箇所につきましても、近日中に施工完了予定です。
⑮危険遊具	東部小学校に危険遊具が放置されている。危険表示テープが張られたまま何年も放置されているが、一度確認してほしい。	現場を確認し対応します。	当該遊具の撤去に向けて対応しているところです。
⑯公共施設	東部小学校の体育館入口に電気がなく暗い。災害時等に安全に利用できるよう、東部小学校だけでなく各地区の施設でも再度確認してほしい。	現場を確認し対応します。	体育館入口周辺の外灯のカバー内に汚れが溜まったことにより光量が落ちていることを確認しましたので、修繕工事を発注済みです。
⑰地鉄の駅	中加積駅の老朽化が進んでいる。市内の地方鉄道の駅はほとんど同じ状態であり、ガードレールの代わりに有刺鉄線を使用している駅もある。利用者に対して印象が悪いため、富山地方鉄道に伝えてほしい。	富山地方鉄道に伝えます。	富山地方鉄道にご要望を伝えました。

## R4「市長と語らんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 中加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語らんまいけ」		進捗状況(R5.3.31現在)
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	
⑱市のPR	市の人口を増やすには、滑川をもっと知ってもらう必要がある。近隣自治体では、「日本一小さな村」や「蜃気楼の見える街」などのキャッチフレーズがある。滑川市も「ホタルイカのまち」などのキャッチフレーズを考え、PRしてほしい。	PRが不足しているので、「ホタルイカ」や「海洋深層水」などを使用したキャッチフレーズ等を考え、様々な形で滑川市をPRしていきます。	—
⑲水道工事	水道工事が終わった後の道路が段差などができてガタガタになっている。道路を全面的に工事することはできないのか。	水道工事をした場所を埋め戻し、転圧をしっかりしても沈んでしまう場合があります。また、工事でアスファルトの復旧は2回実施します。1回目は仮復旧し、圧密・沈下されある程度時間が経った後に2回目の復旧工事を実施します。ガタガタになっている場所は1回目の仮復旧の状態ですので、地面が落ち着くまでしばらくお待ちください。	令和4年度に復旧完了しました。
⑳中加積地区公民館	中加積地区公民館の床が全体的に傾いており、事務室の扉が閉まらないなどの影響が出ている。2階では学童保育をしているが、床はコンクリートにカーペットを敷いただけですごく固い。また、非常灯が切れており市へ対応をお願いしたところ、予算がないと言われた。	現場を確認します。	現場を確認し、現在どのような対応がよいか考慮しているところです。他の地区公民館の状況等全体を見ながら順次対応していきます。
㉑中加積地区公民館	中加積地区公民館が立地している土地は、周辺と比べて低くなっており、下水道が入っていない。公民館に下水道は入らないのか。	現場を確認します。	令和5年度に下水道へ接続予定です。
㉒様々な意見を聞いてほしい	市長と語らんまいけに集まっている人は男性の高齢者が多く、若い人や女性の意見を聞く場所がないように感じる。様々な人の意見を聞き、若者が進学後や結婚後に滑川市に戻ってきたいと思えるようなまちづくりをしてほしい。	若い人や女性が参加しやすいような雰囲気づくりが課題であると考えています。今後は、女性や小中学校PTA等を対象にしたものを実施していきたいと考えています。連絡をいただければ話を聞きに行きますので、声をかけてください。	町内会や団体、グループ等の要請に応じて皆さまの集まりなどに市長が出向き、これからのまちづくりについて語り合う「出張版市長と語らんまいけ」を実施しています。

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 中加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R5.3.31現在)
②③厚生連滑川病院の小児科診療	厚生連滑川病院で毎週水曜の午前中に小児科診療日が増えたことを市民のほとんどは知らないのではないか。もっと情報を発信してほしい。	令和4年8月から診療日が増えましたが、診察実績が少なくPR不足であると感じています。PRをしっかりと実施していきます。	市ホームページ、LINE公式アカウント、公式Facebookに掲載しました。今後も広報を継続していきます。
②④子どもサミット	毎年市では子どもサミットが開催されているが、先生がシナリオを作成した形だけのものではよくないと思う。子どもたちの本当の思いを聞く場にしたいほうがよいのではないか。	マンネリ化しているところがあるので、形式を少しずつ変えて実施していきます。	子どもたちが、スムーズに進行できるように全体の流れを記したシナリオは用意していますが、子どもたちの発表内容については、子どもたちが事前の体験学習会や各学校での活動等とおして、自ら考え、自分たちの言葉で発言しています。なお、回を重ねるごとにテーマの重複等、マンネリ化はありますので、引き続きよりよい形式を検討していきます。
②⑤除雪	砺波市では市が地域にホイルローダーを提供して、地域で除雪を行うようにしており、オペレーターの資格取得に係る費用も助成している。そのような助成制度を作ってはどうか。	市では小型ホイルローダーの導入に係る経費を新規登録車の場合には限度額300万円で補助しています。	—
②⑥滑川運動公園パークゴルフコース	滑川運動公園のパークゴルフコースの芝が刈られていないので、整備してほしい。	令和3年までは職員2人が交代で数か月に1度芝の整備をしていました。今年に入り、芝を刈る機械が故障したため整備ができていませんでした。現在は機械を修理し、直営で整備を再開しています。	—
②⑦滑川運動公園	滑川運動公園は親子連れで休日は賑わっているが、遊具が1つしかないので増やしてほしい。	現場を確認してから回答します。	—

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 中加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R5.3.31現在)
⑳保育施設	保育施設の規模によって保育士の数が決まっているようだが、保育士の安定した雇用の確保、保護者が安心して子どもを預けることができる施設の確保について、市としてどのように考えているのか。後ほど市長室に伺うので教えてください。	市長室でお待ちしています。	私立保育所等については、その規模に応じた保育士の雇用の確保がされ、保護者が安心して子どもを預けることができる施設となるように、その規模や利用児童数などにより、国で定めた基準で計算された運営費を国・県・市で負担するなど、市内の保育施設の確保・充実に努めています。
㉑町内会	人口減少により町内会がいずれ成り立たなくなると思う。現状でも若い人が町内会活動をやりたがらないことや、町内会から退会を希望するなどの事例がある。少子高齢化に対応した町内会とは違った形態のものが必要になってくると思うが、市としての将来ビジョンがあれば教えてください。	将来的には小規模多機能自治を進めてほしいと考えています。南砺市では各地区で協議会を形成し、それぞれの町内会で市から補助金ももらいながら運営しています。形にできるよう少しずつ進めていきたいと考えています。	令和5年度から町内会の負担を軽減できるようなDXを活用した取り組みを実施します。今後も引き続き市としてサポートできることがないか研究します。
㉒旧町部の活性化	旧町部の活性化を進めてほしい。	現在、瀬羽町周辺は店がたくさんオープンし、若い人たちが集まってきており、少しずつ活気づいてきています。活性化のために様々な政策を打ち出していきたいと考えています。	—
㉓防災備蓄品	市の防災備蓄品が田中小学校に集中していると聞いている。実際に災害が発生したときに、各地区に防災備蓄品が回ってこないことがないよう、分散して保管した方がよいのではないかと。また、市から配布されるものが各地区で配布されるものと重複しないよう、配布されるもののリストがあれば提供してほしい。	防災備蓄品は田中小学校と滑川消防署横の倉庫、中滑川複合施設の市内3箇所に分散して保管しています。	市では、食料や飲料水のほか避難生活に最低限必要なものなどを備蓄していますが、何をどこにどれだけ配布するかをあらかじめ決めていたものではありません。また、公的な備蓄だけでは十分とはいえませんので、自助と共助も重要です。地区や自治会においても、補助制度を活用していただき、自主避難や避難誘導、救助活動など自主防災活動に必要なと考える物品を整備していただければと思います。